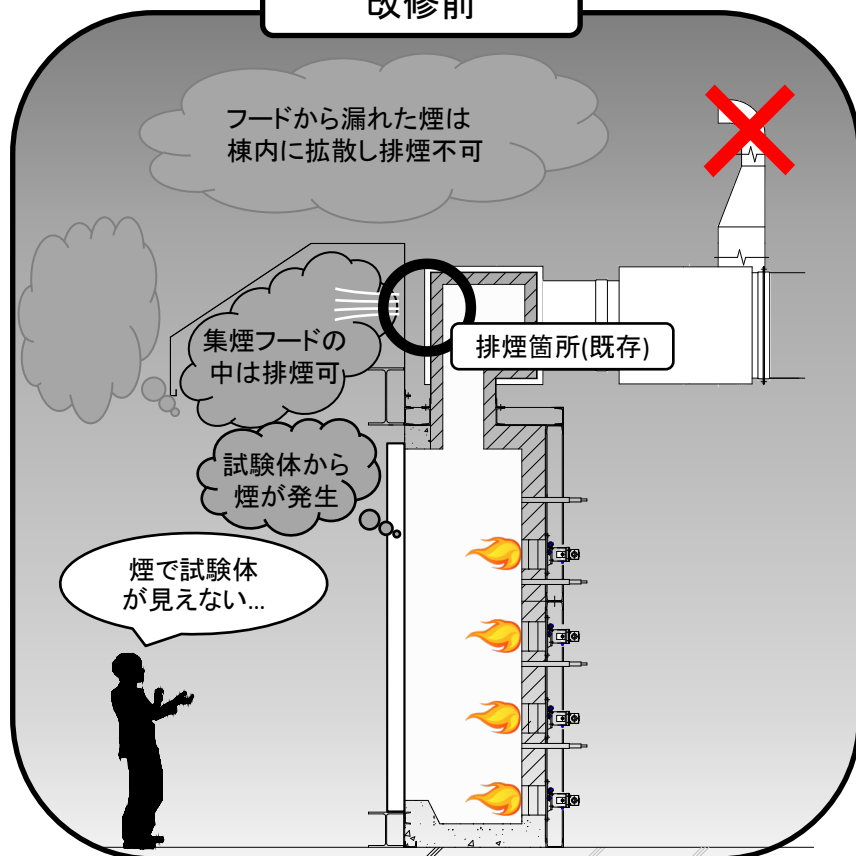


## 【お知らせ】壁炉試験時の排煙強化について

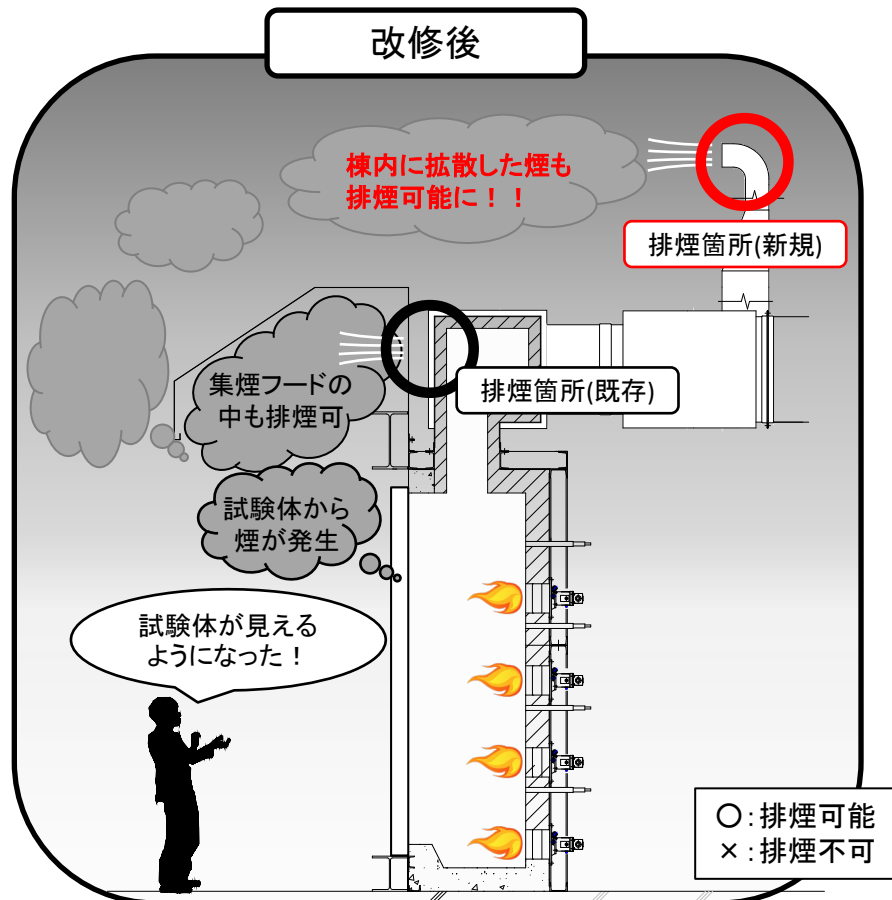
近年、建築物の高断熱仕様の需要増加に伴い有機質材料を多用する壁の仕様が増えたことで、既存の集煙フードのみでは試験体非加熱面に発生した煙を十分に処理できず、試験体の観察が困難となる状況が発生しておりました。そのため、今回、既存の集煙フードに加えて試験炉上部に設置された排煙設備も併用できるよう改良し、排煙能力を強化いたしました。今回の改良により耐火棟内に滞留する煙が減少し、試験体の視認性向上ならびに観察者の煙への暴露低減を図ることができました。

今後も試験立会い時の環境改善に取り組んでまいりますので、本件に限らずお気づきの点がございましたらご意見賜れますと幸いです。

改修前



改修後



## 【注意喚起】大臣認定取得済みの製品の仕様変更について

最近、既に認定を取得した大臣認定品に対し、自社の判断により、製品の仕様変更を行い、施工・販売を行った製品が、認定違反となった事例が複数発生しています。

このような状況から、国交省より注意喚起の文書が発信されています。製品の性能が向上する仕様の変更であっても、大臣認定の変更申請が必要な場合があります、必要な手続きを行っていない場合に、大臣認定不適合となる可能性があります。

認定品の製品仕様や、認定内容に変更が発生した場合、まずはGBRCまでご連絡をいただきますようお願いいたします。

注意喚起の原文は、以下のリンクからご確認ください。

出典:国土交通省

<https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/build/content/001769615.pdf>

関連文書

<https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/build/content/001859225.pdf>

大臣認定品の認定内容の変更には

### 大臣認定の変更申請

が必要です。

【指定建築材料について】  
大臣認定品に関する  
品質管理方法を見直そう！

【防耐火構造等について】  
大臣認定品の耐火壁の面材  
の留付間隔を変えよう！



※大臣認定仕様範囲内  
であれば問題はありません。

変更申請せずに上記のようなことを行うと

### 大臣認定不適合

となります。

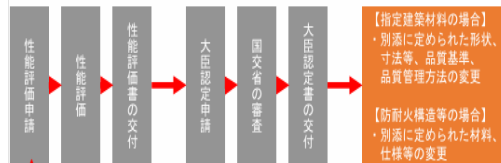
大臣認定不適合となると、特定行政庁において建築基準法違反と判断される可能性があります。

大臣認定の認定内容を変更する  
場合は、たとえ性能が向上すると  
考えられても変更申請が必要です。

変更申請を行う場合は、新規の認定申請と同様に  
指定性能評価機関による性能評価が必要です。

※性能が向上する変更の場合、新たな試験を要しない性能評価を受けることや、  
軽微な変更として扱われる場合もあります。

大臣認定のフロー



【指定建築材料の場合】  
・別添に定められた形状、  
寸法等、品質基準、  
品質管理方法の変更

【防耐火構造等の場合】  
・別添に定められた材料、  
仕様等の変更

## 【お知らせ】耐火性ガイドブック改訂について

各種構造材料の火災時を想定した高温性状に関する情報について、体系的に整理・取りまとめた『構造材料の耐火性ガイドブック』がこの度改訂されております(第4版)。今回の改訂に関する講習会が下記のとおり開催されますのでご案内いたします。

主催: 日本建築学会 防火委員会

日時: 2026年 2月27日(金) 13:00~16:45

開催方式: 会場(建築会館ホール)およびオンライン

<https://www.aij.or.jp/jpn/symposium/2025/20260227.pdf>

### プログラム

| 時間 | 13:00~13:15     | 13:15~14:00         | 14:00~14:45               | 15:00~15:45      | 15:45~16:15      | 16:15~16:45   |
|----|-----------------|---------------------|---------------------------|------------------|------------------|---------------|
| 内容 | 主旨説明<br>・総論     | コンクリートの<br>耐火性      | 鋼および耐火被覆<br>の耐火性          | 木質材料の<br>耐火性     | アルミニウム合金<br>の耐火性 | 新材料の<br>耐火性   |
| 講師 | 道越真太郎<br>(大成建設) | 常世田昌寿<br>(建材試験センター) | 鈴木淳一<br>(国土技術政策総合<br>研究所) | 金城仁<br>(ベターリビング) | 染谷朝幸<br>(日建設計)   | 道越真太郎<br>(前掲) |

※1: 司会は、平島岳夫(千葉大学)が行います。 ※2: 講師及び司会は都合により変更となる場合がございます。

## 【お知らせ】

### 耐火構造の燃え止まり型柱、はりの樹種包含の拡大

一般社団法人建築性能基準推進協会 防耐火構造・材料部会 防耐火構造WGにおいて、耐火構造の燃え止まり型柱、はりの樹種包含の拡大が検討され、荷重支持部材をスギで受験した際に包含できる樹種に追加いただくことが決定いたしました。(下表参照)

#### 申請仕様(赤字が今回の更新により追加された樹種)

スギ、カラマツ、ホワイトウッド、ヒノキ、スプルス、ペイマツ、アカマツ、オウシュウアカマツ、ラジアタパイン、ダフリカカラマツ、ヒバ、トドマツ、アカエゾマツ、**シラカンバ、マカンバ**

『試験体選定基準』についても今後更新いたします。

更新後、あらためメールマガジンにて、ご連絡させていただきます。

## 【お知らせ】大臣認定申請に係る手数料納付金の改正

国土交通省への「大臣認定申請に係る手数料納付金」が以下の通り改定されます。2025年4月1日付大臣認定申請分より19,500円(非課税)に改正されます。

ご不明な点等ございましたら、評価担当へお知らせください。

| 項目              | 改正前          | 改正後          |
|-----------------|--------------|--------------|
| 手数料納付金          | 20,000円(非課税) | 19,500円(非課税) |
| 大臣認定申請に係る諸経費負担金 | 11,000円(税込)  | 変更なし         |
| 分割申請に伴う図書追加発行   | 22,000円(税込)  | 変更なし         |

※大臣認定を電子申請で行う場合が対象となります。

## 【スケジュール】性能評価委員会

下記の予定となります。GBRCのホームページでもご確認いただけます。

[https://www.gbrc.or.jp/building\\_confirm/committee/](https://www.gbrc.or.jp/building_confirm/committee/)

|                    | 2月        | 3月        | 4月        | 5月         | 6月         |
|--------------------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|
| 防耐火構造部材<br>性能評価委員会 | 9日<br>18日 | 9日<br>24日 | 8日<br>22日 | 13日<br>27日 | 10日<br>24日 |
| 防火材料性能評価委員会        | 25日       | 25日       | -         | -          | -          |

### 【編集後記】

1月も終わりに近づき、年末年始の忙しさも一段落といったところでしょうか。

本格的な寒さはまだ続きますので、みなさま、健康にお気をつけてお過ごしください。

さて、私事ではございますが、昨年の10月から、これまで担当しておりました水平炉・柱炉から、新たに壁炉の担当へと変更になりました。

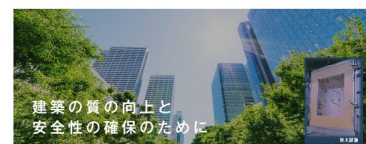
小型炉は引き続き担当をいたしますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。(東)

## 【ご利用ください】耐火部情報共有サイト

耐火部の最新情報を掲載しています。ぜひご利用ください。

<https://sites.google.com/view/gbrc-testblankday-list>

- ①耐火試験日程空き状況
- ②大臣認定書交付状況
- ③料金表、申し込み書類掲載
- ④YouTubeチャンネル、メールサービスへのリンク



GBRC 耐火試験日程空き状況・認定書交付状況・その他リンク集

発行者: 一般財団法人 日本建築総合試験所  
試験研究センター 耐火部 評価業務室  
TEL: 072(768)8201 E-mail: info.taika@gbrc.or.jp